



市役所周辺を「ピースパレード」。安倍政権に対する怒りと、再開発問題や産廃施設建設反対などの運動を持ち寄って実現させました。(7・2 市役所横 2面参照)

平和が いちばん

2017年 7月15日

第 121 号

平和で豊かな枚方を
市民みんなで作る会

子ども たちに 平和・人権・共生の教科書を

来年度から小学校で「道徳」が教科になり、19年度からは中学校でも同じく教科化されます。2015年3月、安倍内閣で下村文科大臣の時に学習指導要領が変更されました。主な目的はイジメ - 自殺への対応とされました。現政権は戦前の修身の原典「教育勅語」を礼賛する閣僚が多く、「(教育勅語)憲法や教育基本法等に反しないような形で教材として用いることまでは否定されることはない」と閣議決定したのは記憶に新しいところです。この流れの中での「道徳」教科化です。

イジメの多発＝「道徳」教科が必要という因果関係は証明されていません。しかし安倍政権は社会の不安感を利用し「イジメを無くすために」と道徳教科の復活を果たしました。例えば福島からの避難者を邪魔者扱いし、「楽しんで金を受け取る」人たちの排除の風潮が、子どもたちの世界でのイジメの培養器になっていることを見れば、まず正すべきは権

力側です。さらに昨今の独裁的な政権運営に対する内部からの“告発”。公の利益のために事実を明らかにすることは社会的にも道徳的にも賞賛される行為です。ところが政権側は告発者のプライバシーを捻じ曲げてリークし、人物を貶めることに策を弄する。このような政権が「善悪の判断・正直・誠実」などの道徳項目を掲げるとは笑止千万です。

来年度から使用する「道徳教科書」選定作業が枚方市でも始まっています。市民や現場教師の意見も取り入れて、“平和・人権・共生”が尊重される教科書を子どもたちに渡さなければなりません。

さらに指摘すべきは、評価が点数ではなく「文章」という点。多忙極める教員に業務が上積みされることへの懸念です。子どもと向き合う時間が減るのではないか、かと言って「点数」が良いというのでもありません。そもそも「道徳」に評価が必要なのが根本から問い返す必要があります。

直言

マスコミ・チェック！ 沢野 文明

先月の「市民の会」総会で、日本TV元アナウンサーの小山田春樹さんの講演「国民の知る権利と報道の自由を守る」を聞きました。資料として出された「NHKニュースの項目表」。それは「二〇一六年七月九日(土) お昼のニュース」です。翌七月一日は参院選投票日で、その前日にNHKはどんなニュースを流したか? ①東京目黒区殺人事件 ②北朝鮮ミサイル発射「たたいま入ったニュースです」(韓国一〇時発表) ③西日本東日本激しい雨 ④略 ⑤参院選あす投票 ⑥北のミサイル発射事実上失敗…

小山田さんのコメント。①⑥北のミサイルが臨時ニュース紛いに扱われ、しかも発射失敗は最初のニュース時にわかっているのにわざわざ二回も報じる。③は梅雨時でありニュース性は低い。⑤にやっと参院選が登場しているが、視聴者に明日の選挙投票日を意識させようという気は少ない。義理か厄介かの扱い…

この講演に触発され、私もTVニュースを記録してみました。六月十九日、月曜日のことです。三放送局とも全国版で約一五分の編集です。①…③〇〇 JNN 四ch) ①ロンドンでテロ②米イージス艦事故③仏マクロン圧勝…⑩内閣支持率低下①…④五〇 ANN 六ch) ①ロンドンでテロ②内閣支持率急落③全米ゴルフ①…②〇〇〇 NHK 二ch) ①ロンドンでテロ②仏マ新党過半数③米イージス艦事故…⑤東京五輪暑さ対策⑥メダル狙う選手発掘

私のコメント。ANNは内閣支持率の項目が二番目で、JNNは番外の一〇番目の扱い。NHKは世論調査をやっていないのか項目に無し。この一九日は前日に通常国会が閉会し、加計・森友・共謀で強引な運営が行われた直後です。この時点で世論調査は意義があると思うのですが、なぜかNHKは取り組まない。⑤⑥など論外。たった一回ですがNHKの「偏向」が浮かび上がる「ニュース項目」調査。是非一度。

手塚たかひろ 議員日誌



6月17日 「市民の会」第11回総会 市民の会は、安倍内閣の戦争法・共謀罪法・憲法改悪の動きに対して平和、民主主義擁護の立場から署名行動や街頭宣伝行動などを継続して取り組んだ。さらに、生涯学習市民センターと図書館の指定管理者制度導入反対、香里ヶ丘図書館の建て替え、高槻の産廃焼却炉建設反対を取り組む市民とともに運動を行った。その結果、市民からの信頼が拡大していることを確認した。福祉・教育での公的責任の後退、指定管理者制度導入拡大、行政の民営化を市民無視で進める伏見市政を変える取り組みを市民の共同行動で強めることを確認した。市政を変えるためには複数の市議会議員を送り出す必要があること、会員、協力者の拡大に取り組むことを確認した。皆さんともに取り組みましょう。

7月2日 住民運動交流会+ピースパレード 香里ヶ丘図書館建て替え、図書館への指定管理者制度導入反対、交野市星田北開発反対、高槻産廃施設建設反対などに取り組んでいる方々からの報告。高槻産廃は約10万の署名が短期間に集まり(枚方でも3000を超える)業者は建設を断念、高槻市議会には建設には地元住民の合意を必要とする条例を全員一致で成立させた。市民の力が市政、議会を変えた実例だ。市民運動はあきらめずに活動を続け、市民に広げ運動を背景に議会を動かし行政を変えていく共通の方向が確認された。その後、市民会館から岡本町公園までピースパレード。「安倍やめろ」「枚方市、交野市は市民の声を聞け」など参加者はそれぞれの思いを訴えた。このような取り組みを続けたい。

7月3日 東京都議会選挙自民党惨敗 憲法改悪の動き、共謀罪法の「だまし討ち」強行採決、森友、加計疑惑隠し、市民を馬鹿にした安倍内閣、自民党に対する怒りの表れ。世論調査でも安倍の支持は急落している。安倍退陣への始まりとしたい。

6月23日 6月分議員報酬から217,400円 7月7日 6月分期末手当から66万円を大阪法務局へ供託

ホッと タイム

報道に怒り TVを消して

7月2日(日)午後、私が代表をつとめる「実行委員会」が呼びかけてピースパレードを行いました。6

月15日の共謀罪法の強行採決や森友・加計問題の幕引きを図るため国会の会期を延長することなく閉会するなど、安倍政権は余りにも国民を愚弄しています。こんなやり方に我慢がならないと多くの街行く人々にも訴えようと企画しました。また当日の午前中に行われた「地域変革市民運動交流会」では、枚方の図書館問題や対岸の高槻市の産業廃棄物施設建設を巡っての問題、また交野市星田地域での区画整理・土地開発問題など地域で起こっている様々な課題を議論しました。そこに共通するのは、市民の声を聞こうとしない、市民の声が反映しない行政に対する市民の怒りでした。その怒りも一緒に広く訴えようとピースパレードに結実しました。

実行委員からは、出来るだけ楽しくパレードができるように「七夕の笹飾りも登場させたいね」とか、「コー

街に出よう 松田久子



ルもわかりやすいシンプルで、短い言葉がいいね」と声が上がりました。街頭での署名行動に来てくれた方や地域で運動している方などいろんな方々と一緒に作ることができました。

パレード前の出発集会では、午前中の交流会の報告やまた今の安倍政権への怒り、介護における今の問題点など様々な声が上がりました。若い人の発言も新鮮で頑張っている様子がよくわかりました。また別の参加者からは、「安倍政権はひどいが、一つ感謝することは安倍さんのおかげでここにいる多くの方々と出会うことができた」と言われました。そして若い人が「(図書館問題を頑張っている枚方の運動を知り)今は、沖縄の支援に行こうとしているが、また枚方に戻って枚方の地に足を付けて枚方で運動をしていきたい」との発言もありました。次回は、もっと多くの市民とつながり「憲法こわすな!人権まもれ!」の声をあげ続けていきたい。

〒573-0027

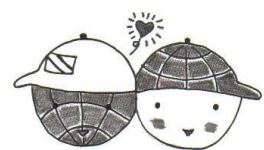
枚方市大垣内町
2丁目8-27
シンエービル別館A
市民の広場“ひこばえ”

TEL&FAX
072-846-8780

共同代表 黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)
鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)
奥村 秀二 (弁護士)
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)
事務局長 手塚 隆寛 (枚方市議員)
スタッフ 松田 久子 (「すずらんの集い」代表)

メールアドレス: hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作